

Proença-a-Nova

について



プロエンサ・ア・ノヴァ

周囲には広大な森林と耕作地が広がり、ことにオリーブの林と桜の木々が目立ちます。春になると、付近一帯は桜の花で真っ白に埋め尽くされ、まばゆいばかりの光景を呈します。そのような風景に囲まれたプロエンサ・ア・ノヴァ (Proença-a-Nova) は、ポルトガルのちょうど中央にある、ひっそりと静かな村です。

サン・ペドロ・ド・エステヴァル (São Pedro do Esteval) ではブラカナ川 (Rio Pracana) に古代ローマ時代の橋がかかり、フィゲイラ (Figueira) やペドレイラ (Pedreira) のような地方色豊かな村々が点在しています。村の見どころは18世紀の彫刻が美しい教区教会 (Igreja Matriz) や、片岩でできた昔ながらの粉ひき場とその巨大な石臼です。

村の周辺では、アルディア・ルイヴァ (Aldeia Ruiva)、フロイア (Fróia)、マリヤダル (Malhadal) の川辺の砂浜が人気の行楽地であり、ことに夏場はにぎわいを見せています。

郷土料理の代表的なものとしては、マラーニョス (Maranhos) (ヒツジの臓物と米、鶏肉などの煮込み料理) や、フェイジョアーダ (Feijoadas) (豚肉と豆の煮込み)、各種ソーセージ類、山羊のチーズが挙げられます。また、菓子類では、カヴァカス (Cavacas) (軽くぱりぱりした菓子の一種) や蜂蜜とオリーブオイルのケーキが挙げられます。